

臨床データ利用のお願い

豊田厚生病院では、以下の研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることを希望されない場合など、お問い合わせがありましたら以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

CABG 患者における術中・術後輸血の長期生存に関する影響

2. 研究責任者

豊田厚生病院心臓外科 川口鎮

3. 研究の概要

一般に手術後の輸血は患者の血清ヘモグロビン濃度を一定以上に保つことにより、術後の回復を早め、合併症を防止するとされています。心臓血管術後に関しても、弁疾患手術・大動脈手術後の輸血が長期予後を改善することが報告されていますが、冠動脈バイパス術(CABG)後においては逆に輸血を行った患者の長期予後が悪いことも知られています。しかしながら CABG 患者でのみ輸血が長期予後を悪化させる原因は分かっていません。当院では 2007 年 4 月までは血清ヘモグロビン濃度 8g/dL 未満を輸血を行う目安としていましたが、2007 年 4 月以降は、輸血を行う目安を 7g/dL 未満へ変更しました。この研究では輸血を行うヘモグロビン濃度の目安を下げたことが妥当かどうかを検証し、安全に輸血を減らすことができるかを検討することを目的としています。

4. 研究の方法

①対象となる患者さん

2002 年 4 月から 2014 年 7 月末までに狭心症、心筋梗塞に対し単独で冠動脈バイパス術が行われた患者さん

②使用する資料等

カルテ情報：年齢、性別、身長、体重、血液検査、術後輸血率、生存率、死亡率、術後合併症、在院日数、手術方法

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいた院内規定を守ったうえで管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. お問い合わせ先・相談窓口

豊田厚生病院心臓外科 川口鎮

電話：0565-43-5000（代表）